



# 東京都JRAT 第4隊

## 能登半島地震被災地支援 活動報告書

### 藤田医科大学 先端医療研究センター 羽田クリニック

#### ●活動経歴

第4隊は、2024年2月24-26日は珠洲市、27-28日は七尾市にて5日間の日程で活動しました。部隊構成はDr1名、PT1名の計2名でした。



#### ●2024年2月24-26日：珠洲市

発災から約2ヶ月が経過していましたが地震による被害は甚大であり、水道や道といった生活インフラの復旧に時間を要している状態でした。医療支援は急性期から生活不活発病予防や地域医療の復興のフェーズに移行していました。現場の課題として発災前から医療資源が乏しく高齢化率の高い地域であり、医療、介護保険サービスなど公的サービスのみに依存した復興が困難である点が挙げられました。今後の復興策として地元ボランティアやリハビリ関係者が避難者の活動状況をモニタリングすると共にシルバー体操を普及し、避難所単位で不活発病を予防していく方策が策定されていたため、各避難所におけるシルバー体操の普及定着に尽力しました。また、一般の避難者だけでなく介助や支援が必要な要配慮者が避難所での生活環境に不便がないか各避難所を確認し、必要であれば環境調整を実施しました。

#### ●2024年2月27-28日：七尾市

多くの地域でインフラが復旧し発災前の生活に少しずつ戻っている印象がありましたが、依然避難所で生活されている方も多い状態でした。珠洲市での活動と同様に避難者の活動状況の確認とともに、点在している避難所を集約するために新規避難所の環境確認や、保健所やDWATのスタッフと共同しながら既存の避難所の環境調整、福祉用具の提案をさせていただきました。また、避難者の下肢周径、歩行評価を実施し、必要であれば赤十字スタッフと連携し受診を促しました。また、後続隊へ活動内容の進捗や残存した課題を伝達し、連結した支援が可能となるよう努めました。